



何物語
—

15
512
1



四書
五經
六藝
七略

何物諸と

志孝之大目

志孝と云ふ文章よれしげと云大目
と志孝人せんぬる大威名目也

一四書とハ 大学 論語 孟子 中庸

大学ハ禮記ノ一篇と接合して朱熹と云賢人
註し終つり中庸之目ト論語ハ孔子此云行
と死し多尙書より孟子ハ孟軻と云賢人乃云

り」と記し多尙書なり

一五經とハ 周易 尚書 毛詩 禮記 春秋

易書ハ伏羲天地此道理と説終る尙書より
書經ハ代々聖王天下と治めきまふ大典也



重觀鈔 彙倫枚 辭問答など此屋うるは候
名りこれ書と見ずるがごとく皆先四書五經
の理とやらうきく見たり聞易屋うよ
ごまふ書なりそれと見難と云ふ人の徳
は大抵とんじ常に才持正一を詭をいふ
と此と云ふことしてその物候と定て伝ども
多く身此行ひと似を云ふごとく是を志
孝此一書なり

一天地 是ハ人間萬物此生おる所の根源なり
天を陽をり地を陰なり故に一切の生物は陰陽
の理具はらふあり百代たりよるは此道

あり則は誠乃字此ハ天地の理よありされおと
んハ半なり人間乃道ハ天地の理よりよふと善
と一天地の理よ遠ふと悪とと但天地此
理よりれしは善よふと人よと悪人の氣
と悪と一理よとむわく悪よかと人よ
と悪人の氣よと一とと此道は人の善
と人悪くよまうゆむは悪人なる者よ
色よ事にあひ善人なるかと思つと罪よあ
る事多し然先天地乃理百代滅
はる故よ其罪を人ハ終よ善れ名なり
を罪の人の終よ悪乃名とゆふなり

は善と悪との名何と徳授よと云そと云所
おまよ共天地乃正理おま故より亦天地元
か故たよ天と云之同也

一神祇 是ハ天地四用至妙不測まると云神ハ
て神なり祇ハ地祇なり一理を分ちて神と
云色同ド人ハ智ありて或ハ千万里を
之所或ハ千万年此古千万年此来世まこ
堅之鉄石此中まを共ハ別心乃通じら
ハ是至妙此神理と我ハ受給るま故なり
人乃畏ま敬ふるま事此才一なり

一聖人 是ハ天地と同神乃徳ある人と云

人ハ善物乃其由て天地此正義と受るま
者なり故よ人乃道と盡る天理身此
徳よ至る是と聖と云か人欲あるま聖
よあらず亦天徳此至妙と故なり故よ聖
と云云神位とて聖人乃徳此よ一階
乃位あるまあわらむ伏儀神農黃帝
帝堯帝舜禹王湯王文王武王周公
孔子 是ハ此聖人なり生るまはくこの
徳ある人と生知安行乃聖人と云教り
申くまはくは徳よある人と学知利
此聖人と云学よ力と學ては徳

至る人々を因知冠強の聖人と云故に聖
徳は甚なりと云へとも亦人の徳
と云は道もあつと云へり

一亞聖 是も天徳に徹れ其れ故に亞乃字と
云へて聖と云私意ある事能く其れ位
なり 臯陶伊尹 傳説 召公奭 顔回 閔子
騫 曾子 子思 孟子 皆亞聖といふあり
一賢人 是の亞聖に徳より程劣る事多し
なり 従大賢と云へば聖人此徳は玉乃蓋
徳乃程劣るといへば聖人此徳は玉乃蓋
内は金銀とて美花と云へる事多し

と十分より多しと云へる事多し
美ありと云へる事多し 唯物なきこと
ひとく次は亞聖に徳は件乃清ありと云へ
乃濁水更なりと云へる事多し 美花より
か清なりと云へる事多し 賢人此徳を
件乃濁ありと云へる事多し 賢人此徳を
と云へる事多し 賢徳より又高下此位多し
伯益 萊采 大公望 敬宣 生 伯夷 叔齊 伯
牛 有子 子貢 子游 子夏 子路 仲弓 程
程頤 朱喜 皆これ賢人と見あり 右は蓋
と云へる人乃神と云へる事多し 美花といふは天理と

何物也

うけけきふ人此性也清ありと云へ性も率ふ
 道ふなり濁水と云へ性も味と人欲也そ
 なる大なりて人欲も勝へ則賢なりゆゆ
 大なる則大賢亞聖なりゆゆと命して人
 欲もさへも聖人なり道ふ人欲もまよくふへ
 是愚者小人悪人なり清濁も分る賢
 と云へ其善と悪と争くゆゆ位よふまは
 けりゆゆ道ふゆゆ理さふ故小賢と云
 一四教と云 文 行 忠 信 是孔子此人
 又教へ給ふ四乃道なりとあり文は古に聖人
 作し給ふ經の文なりゆゆ性も率ふ道の

行ひまの忠は己が心中よりけりゆゆ其
 實乃道と云くゆゆと云信といふ事ゆゆと
 云有といふ事と云信を言は實なりゆゆ
 文と鏡とて我の徳を明くゆゆ其道を
 ゆゆ事と云へ給ふとあり
 一四徳と云 元 亨 利 貞 是天乃大
 なり元と云物乃初く生じ所と云亨
 と云物乃長じゆゆ利とい物此成す
 而と云貞とい物此成すゆゆと云時と云
 じ元ハ春なり年ハ夏也利ハ秋なり貞ハ
 冬なり表ハ秋冬ハ裏生長成是此也

在遠^いの事皆天道此誠なり
 一立^た常^{じょう}と六^{ろく}仁^に義^ぎ禮^{らい}智^ち信^{しん} 是^この
 六^{ろく}乃^の非^ひ徳^{とく}と人^{にん}乃^の性^{せい}と均^{くわん}家^かと云^い本^{ほん}此^こ神^{しん}
 人の性^{せい}とあると仁^にと云^い全^{ぜん}此^こ神^{しん}人^{にん}乃^の性^{せい}
 ありと義^ぎと云^い火^か此^こ神^{しん}人^{にん}乃^の性^{せい}と五^ごと礼^{らい}と
 云^い水^{すい}此^こ神^{しん}人^{にん}の性^{せい}とありと智^ちと云^い土^ど此^こ神^{しん}人^{にん}
 乃^の性^{せい}とありと信^{しん}と云^い五^ご行^{ぎょう}乃^の本^{ほん}八^{はつ}東^{とう}又^{また}位^い
 一^{いち}金^{きん}八^{はつ}西^{せい}又^{また}位^い一^{いち}火^か八^{はつ}南^{なん}又^{また}位^い一^{いち}水^{すい}八^{はつ}北^{ぺい}
 位^いと土^ど此^こ定^{じょう}位^いなり一^{いち}四^し位^い乃^の中^{ちゆう}に寄^よると耐^{たい}り
 とつと出^で用^{よう}とととけ故^ゆふ人^{にん}乃^の性^{せい}と仁^に義^ぎ礼^{らい}
 智^ち乃^の四^しなり然^{しか}とと信^{しん}をきれば四^し常^{じょう}賢^{けん}なり

ども是^こ本^{ほん}金^{きん}火^か水^{すい}此^こ四^し行^{ぎょう}も出^でる位^いは位^い
 乃^の人^{にん}性^{せい}の則^{すなは}天^{てん}此^こえ事^{こと}利^り貞^{てい}なり仁^にの天^{てん}
 徳^{とく}乃^のえんよとつとく弟^{てい}物^{ぶつ}養^{やう}育^{いく}此^こ神^{しん}道^{だう}人^{にん}
 此^こ大^{だい}徳^{とく}愛^{あい}此^こ理^りなり愛^{あい}の仁^に乃^の介^{けい}又^{また}發^{はつ}見^{けん}と
 不^ふ物^{ぶつ}なり親^{しん}ととつと一^{いち}と民^{たみ}とたつとく万^{まん}物^{ぶつ}
 と愛^{あい}ととつと仁^に乃^の道^{だう}とと義^ぎの天^{てん}徳^{とく}此^こ利^り
 ありて人^{にん}乃^の割^か割^かなり弟^{てい}行^{ぎょう}とたつとよ
 是非^{しぜい}と能^{のう}じつら其^{その}事^{こと}と速^{すみ}とつと義^ぎ乃^の
 道^{だう}とと禮^{らい}の天^{てん}徳^{とく}乃^の亨^{かう}ありて人^{にん}の恭^{こう}敬^{けい}此^こ
 神^{しん}理^りなり弟^{てい}行^{ぎょう}を能^{のう}とよ又^{また}文^{ぶん}ありと事^{こと}と

節あり大なる不及なくを飾る位を
 あり人倫乃交とありと禮此道とあり智
 の天徳乃貞ありて人倫是非乃明理なり
 物乃始終是非此道とあり分別とありと智
 道とあり信天徳乃至徳として人倫大
 無妄此理義行の根本なり上此四徳天徳道
 け五常の人の道なりは道と實よりあり
 て男と備め父子君臣夫婦兄弟朋友此交を
 なくと儒者と云君子と云大人と云賢人と云
 一十義と云 慈孝 良弟 義 聽 忠 仁
 忠是父子兄弟夫婦君臣の道なり

乃不為天義なり慈は父乃義孝は母此義
 良は兄乃義弟は弟此義義は夫の義聽は
 婦乃義忠は長君は君此義仁は君此
 義忠は臣此義なりは十義と備ふは皆一
 心乃正なりは所とあり
 一命 是は天陰陽五行を以て万物を生
 する理と賦与する所と云命は命の
 とあり是乃下知なり
 一性 是は天乃理と人交は性と云天
 乃首善也是天命之性とあり孟子
 乃首善也

性乃善なる事と曰て人と其本体は
一なり一なりと述ゆふと見ゆあり
一 是ハ性情と包て一身此ハ事なる者
人ハ天地乃理とゆく性と一ハ天地の氣と地
神と一其理と氣と合して一なるなり
人間義行乃主なり

一 是ハ性此動なり書ハ曰人生て動あり
天乃性物ニ感して動ハ性乃欲なり
あり亦是又七品あり 喜怒哀懼愛
惡欲なり人ハ欲と云ふ理より一ハ
いふ多き理より一ハ少き理より一ハ

一 此ハ性此動なり書ハ曰人生て動あり
天乃性物ニ感して動ハ性乃欲なり
あり亦是又七品あり 喜怒哀懼愛
惡欲なり人ハ欲と云ふ理より一ハ
いふ多き理より一ハ少き理より一ハ

一 意ハ心乃發して思慮念色と云す
と云意ハ心ハ善惡乃不同あり大君子ハ欲正
其心者先誠其意とあり其心乃發と云
と實也と云れハ必そん心と云り意此邪か
ると私意と云なり

一志 是心乃所志とあり人心の外に道は

一孝悌 孝といふは父母ははく外に君は

一恭敬 恭といふは自ら慢る心なく其

大事にけく其實は清く心と云書

日恭是敬之見於外者敬是恭之主於中者

一明德 是ハ天理と明は我心は受物也

故は孝は明ありて是事の徳也

也他人欲は教をられハ明德くは

其本林乃のありて人欲と克

一安樂 是ハ人皆聖人の道と云ふ

味は物と食と衣と衣と美は

平家家は居金銀財寶を念よつてとて女を
 殺多寤也一花見月見極山能わつる覺
 物をこのまゝよとておとのと安樂と思ふなり大
 人乃由樂ハかく乃とく此義よとくハなく唯
 聖人乃教は後ひ天道よりのみとておふと
 給ふとらんくあり念へ天位念をさしおふ
 魚さし時よりよてくふと味りしと米穀
 金銀財寶をともわのむを天理よありて
 あつた教よとて時よりひてハ速くよとて
 と室とせり第一皆のくれとてとて
 け道とゆふ人したとひ物々此念を
 福乃貪賊よとくも其患なく天下を
 乃富きよとてとがと奢率なりとて
 として常よ樂めり故よん学して
 半世貧富れりなりとてとあり

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

儒宗之法身

儒と天祚地祇乃神道を聖

人述作一後世又傳於道此

名なり宗と其道と傳受し給ひ一代

乃聖人賢人此御事なり

一伏犧

是ハ農且國三皇才乃聖神信此元祖

也天地萬物乃道理と云く易と傳治ハ是書

乃始なり此神代元年ハ是乃宗才乃在位

百十年とあり讓位し此代宗才乃今年末

治二年已亥もて二万二千六百五十五年あり

一神農

三皇才乃乃聖皇才乃耕他高買

乃道と始く民と云く一草木と云く

一 醫業と志ししめ給ふとあり在位百四十年也
一 黃帝 三皇牙三氏聖皇より丹田此法と云
衣裳干戈と修り亦舟と修りめく送
臣と亡し天下と治め給ふなり

一 唐堯 丑帝四番目此聖王なり三皇此道よ
るひて天下と治め給ふ唐と六國乃堯堯
と六神名なりまことハ教勳と云神生年己
丑此案なり十八案と云神即位在位九
十八年とあり丹案と云王子ましくをれ
と云徳聖人なりは子故よ天下と讓給ふ
と云氏乃甲より一人此聖人と撰り給ふなり

て是より神位とゆづり給ふり是と案と云
十六案ありて甲申此案案神と云是日日本
を尊不命尊八十三万四千四百三十六年甲
申小あゝ系又より今年新治二年己亥と
三千九百十六年なり

一 虞舜 凡民かりしりとも聖徳まほまよ
ふく天下此よりか給ふ虞と六國乃神舞と
云神名なりまことハ皇華と云神生年甲
申此案なり二十三案と云初く堯帝と
試らましく六十一案と云神即位在位二十
三年也九十四案此春高し神位とゆづり給

ふれく百十業して始濟とあり書よ三帝
とあふはは堯舜此は事なり

一禹王 舜の臣下此中ゆは勝平の聖人
まゝまゝ一徳と故天下とゆづり給ふとあり

一湯王 殷乃代才一此聖王なり禹王十七世孫
湯名とバ文命と云百業ありて始濟と云

一文王 殷乃代才一此聖王なり禹王十七世孫
湯名とバ文命と云百業ありて始濟と云
まゝと見くゝあり書よ成湯殷桀干商業と云

一武王 周乃大王此孫なり文王と云ハ徳なり
湯名とバ子昌と云湯父とバ季曆と云大子
昌此聖徳の事と云始濟と故長子恭伯也

一孔子 仲雍也と國とゆづり給ふと云子季歴
は徳の王給ふと云つゝありと云ふ子昌は

一殷王 周此代才一乃聖王なり文王此湯子也
湯名とバ發と云殷乃紂王此悪行甚く
有るがう猶紂王乃臣ありとあり

一周王 周此代才一乃聖王なり文王此湯子也
湯名とバ發と云殷乃紂王此悪行甚く
有るがう猶紂王乃臣ありとあり

一周公旦 武王乃湯子なり武王此子成王也
代の模倣と云つゝ天下と治め給ふ亦礼
樂の道と制作し給ふ聖人ありとあり

一孔子 周の代乃人なり殷湯王二年二世は流骨
 國乃大矣叔梁紇と云一人の子なり孔の姓は名
 之也字ハ仲尼と云之は魯の代に聖人
 云行書傳乃名と按て傳道と傳は後世
 又行くと云大聖人也生年周の二十代靈
 王二十一年庚戌十一月四日又延生とあり是
 魯の哀公二十二年より日本八仁皇二代綏靖
 天皇三十一年庚戌又あり十九葉は神代宋
 乃并官氏其女と嫁し給く男子と一人生
 給ふ是と伯魚と云二十餘葉ありて父よきて
 卒し給ふ仲尼ハ七十三葉より壬戌代葉四月八日

又卒し給ひぬ是因二十六代敏王四十二年魯
 乃哀公十六年壬戌乃葉なり是日本八懿徳
 天皇二十二年壬戌より有夫より今年新治二
 年己亥まで二年百二十八年より唐の代
 一 顔回 孔子は神代より類の姓回ハ名字ハ子
 顔と云生年庚辰其葉なり神代より仲尼
 之勝年乃大賢人とあり然とも二十一年葉
 一 曾子 是也孔子ハ神代より曾ハ姓名ハ
 参字ハ子輿と云類回死し給ひく後其は人

法才子よとぐれゑか賢人を為ふべく
孔子の傳を始し生年ハ丙申此宋なり
しつれば仲尼年一始し一宋曾子ハ年
七歳なりと

一子思 仲尼乃河孫なり名ハ汲と云傳と曾子
ハ受とあり中庸と説経ハ大賢人なり

一孟子 固ハ顯王乃齊代乃賢人なり名ハ軻
字ハ子車と云傳と子思ハ受とあり或る

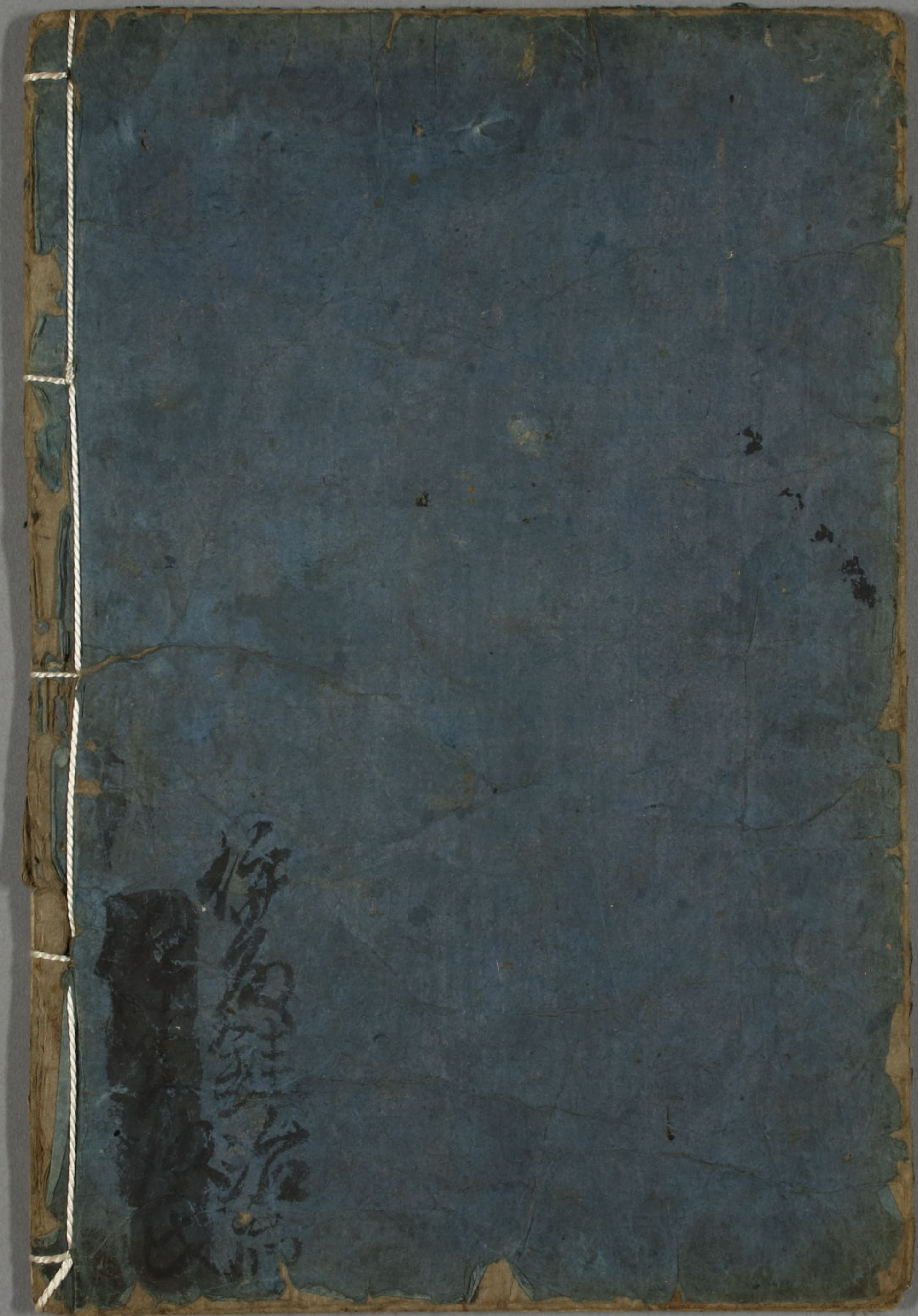
子思乃門人ハ受と云あり書此註也とい
ハし是ハ年と云とあり

一程明道 宋此代乃賢人なり名ハ顛字ハ伯

淳と云孟子年一始し一後聖人乃孔子
と云と程也ハ千四百年ハ及くハ人生
を始し孔子と周茂叔と云人ハうけ程孔子ハ
是程ハ向くハ其儒乃道を始しハ文道を
興起し一始ハ故ハ儒家乃中興なり五十歳
ハく卒と云明道先生と号と云宋此神
宗皇帝此代元豐八年己丑此歳なり日本
皇白河院乃此代應徳二年己丑ハわろれ
より今年第治二年己亥ハ五百七十五年也
一程伊川 明道此弟なり名ハ頤字ハ正叔と云兄
弟ハ儒道と傳ト來世此教と云一始ハ

賢人なり七十五歳にて卒し給ね伊川の
地乃名かりと申くあり書よ二程子と云ふ
は兄弟乃卒なり

一朱熹^{しゆゐ}は宋代乃賢人なり朱^{しゆ}八姓^{はつせい}熹^{しゆ}名
字^{けん}元^{げん}晦^{げん}と云五^ご經^{けい}と福^{ふく}と聖^{せい}書^{しよ}と注^{しゆ}し給ふその
書今日本^{にほん}を傳^{でん}來^{らい}し庶^{しよ}民^{みん}よとすて聖^{せい}人^{じん}の
と云く卒^す悔^げしは朱熹^{しゆゐ}乃切^{きり}と云り七十五
歳^{さい}に卒し給ひぬ而文^{ぶん}公^{こう}先生^{せんせい}と号^{ごう}を是^{こゝ}宋
代^{たい}皇帝^{てんてい}此^{こゝ}御^ご代^{だい}を云^いふ六年^{ねん}庚^{こう}申^{しん}此^{こゝ}紫^し也^{なり}日
本^{にほん}公^{こう}西^{せい}門^{もん}院^{いん}乃御^ご代^{だい}正^{せい}治^ち二年^{ねん}庚^{こう}申^{しん}よありされ
より今年^{ことし}治^ち二年^{ねん}まで四百六十年^{よひむそくじゅうねん}なり終



梅
竹
集
卷
之
一